旭川市は保育士を目指すあなたをサポートします

保育士確保

保育士の離職率の減少

担当者

市民の声

新卒保育士なら3年目までは最大5万円までのアパートの家賃が補助されるので,その分自由に使えるお金が増えます！

保育士宿舎借り上げ支援事業

月額最大5万円までの家賃を補助

新卒保育士

１人暮らしがしたいけど奨学金の返済等の出費があるから難しいなぁ･･･

資格取得

働きながら養成校へ通学または保育士試験で資格を取得すると，試験にかかった教材費や通学のための授業料等が一部補助されます！

保育士資格取得支援事業

養成校に通う場合：受講料最大30万円の補助
試験で合格する場合：教材費等最大15万円の

※保育所等採用されることが条件となります。

幼稚園免許のみの方，高卒の方，求職中の方，主婦の方

子どもが好きで保育士になりたいけど，資格を取りに行くお金がないなぁ･･･

年に２回開催されている研修を受講して実地研修まで終えると，施設で保育士の補助者として保育業務をする資格が取れます！

子育て支援員研修事業

保育の補助者として保育所等で働ける資格を得るための研修です。

高卒の方，求職中の方，主婦の方

子育ても落ち着いたし，子育て経験を活かした仕事に就きたいなぁ･･･

無　資　格

保育士確保事業の３つのパッケージ

旭川市の保育事情

旭川市は平成30年４月１日時点で待機児童がゼロになりました。しかし，ニュースでも報道されるように，全国的に保育士不足が深刻になっており，旭川市も年々保育士不足が懸念されております。保育士が足りなくなるとどうなるのか。保育士１人あたりの子どもを保育する数が年齢ごとに基準で決められているため，保育士が足りなくなると，その施設での子どもを預けることができる人数が少なくなり，待機児童の発生に繋がってしまいます。ここ数年で待機児童解消のために，施設を増やす等子どもの受け皿確保を行ってきましたが，保育士の確保も行っていかないと待機児童の解消にはならないということです。

旭川市が考える保育士の今

保育士不足の背景には，保育士を目指す人が減少したことに加え，既に保育士資格を持っている人が，一度現場を離れると，なかなか保育士としては復職しない・しにくいことも影響していると考えます。保育士のイメージは「仕事のわりに給与が低い」「残業がある」等のイメージが昔からあるかと思いますし，その風評が今も根強く残っている印象があります。

しかし，現在は，保育士の処遇改善が年々されており，昔と比べると給与水準が高くなっている傾向にあります。例えば「給与が低い」とはどの業種と比較してが低いと判断するか。例えば弁護士と比較してはいかもしれませんが，間違いなく以前よりも，給与改善はされてきております。

また旭川市で保育士確保事業を行うきっかけにもなった要因として，子どもが大好きで保育，保育士になりたいけれど，保育士資格をとるために大学・専門学校に通うお金がないといった声が多かったことでした。

お金がなくて夢をあきらめなければいけないお金がなくて本当に保育士になりたい人が保育士になれない。そのような達を旭川市でサポートしたいとの思いで，この事業を始めました。幅広い年齢層の方が保育士を目指せる事業内容となっておりますので，これを機にあなたも保育士を目指してみませんか？